

この指導資料の使い方

1 基本的な考え方

「大地の変化」の学習で扱う内容を、流水編、火山編、地震編の3つに分類しました。そして、各編に次の内容を盛り込みました。

《指導資料の内容》

- ・ 大地の変化を指導する上で必要な基礎知識
- ・ 群馬県の災害事例に視点を当てた大地の変化の地域資料
- ・ 授業の進め方を示した単元指導例
- ・ 授業で活用できるワークシート

2 指導資料『大地の変化・ぐんま』の使い方

基礎知識

ここで扱う基礎知識とは、単元を指導する上で、教師が背景として知っておきたい知識のことです。理科が専門でない教師も活用しやすいように、画像を用いたり、詳しい解説を付けました。

群馬の資料

群馬県に関係した大地の変化を伴う自然現象について、いつどのようなことが起こったかを紹介しました。流水や地震、火山活動の例には、自然には大きな力があることが分かる一般的な資料を使いました。この元となるデータは、自ら撮影した画像、官公庁の資料や新聞記事（引用文献、参考文献に示す）などを利用しています。

また、各資料には、指導のポイントを付けてあります。ポイントは、写真から読み取らせる観点として、補充的・発展的な学習指導の資料としても活用できます。

単元指導例

大地の変化を伴う自然現象を扱う小学校第5・6学年と中学校第1学年の単元の指導計画や学習指導案を作成しました。指導計画には、指導のどの場面でどの資料を活用すればよいのかを示してあります。また、学習指導案にも、作成した指導資料やワークシートの活用場面を示し、教師にとって活用しやすくなるように工夫しました。

ワークシート

ワークシートは、指導計画に対応した児童生徒用と、それに記入例や解説を加えた教師用の二種類を作成しました。ワークシートにも、県内の情報や画像を使い、児童生徒が学習したことを身近に感じられるように工夫しました。